

普段から準備できることを確認しましょう！

防災特集 2021

身を守るための日ごろの備え

●安全な避難経路と避難施設の確認

普段から家族みんなで避難経路や避難施設を決めておくようにし、安全に通行できるかどうか、確認しておきましょう。



避難所での取り組み

避難所では、人と人との間隔確保、換気の実施、手洗いやせきエチケットの周知、ドアノブなどの消毒、保健師など専門職員の巡回など、感染リスクを軽減させる取り組みを実施します。

QRコードで情報を取得できます

河川の水位、土砂災害の情報

・川の防災情報
(国土交通省)



・土砂災害警戒
情報(北海道)



非常持ち出し品と備蓄品を準備しておきましょう

災害発生直後は、食料や日用品の入手が困難になります。日ごろから非常持ち出し品と備蓄品を準備し、いざというときにはすぐに持ち出せるようにしておきましょう。

感染症対策用品

避難所の新型コロナウイルスをはじめとした感染症の拡大を防ぐため、感染症対策に役立つものも準備して、避難所に持っていきましょう。

- マスク
- 体温計
- アルコール消毒液
- ハンドソープ
- ウェットティッシュ など



非常持ち出し品リスト

●備蓄品(家庭で備えておくもの)

- 食料品(最低1人当たり3日分)、飲料水(1人1日当たり3リットル)
- ランタン(LED等)
- 乾電池、携帯電話の小型バッテリー
- カセットコンロ
- 携帯トイレ
- ヘルメット、防災ずきん など

●非常持ち出し品(避難時に最低限持ち出すもの)

- 持病のある方の薬など
- 携帯ラジオ(電池式、充電式、手回し式)
- 懐中電灯等
- 現金・貴重品 など

●赤ちゃん用

- 液体ミルク・粉ミルク
- 紙おむつ など

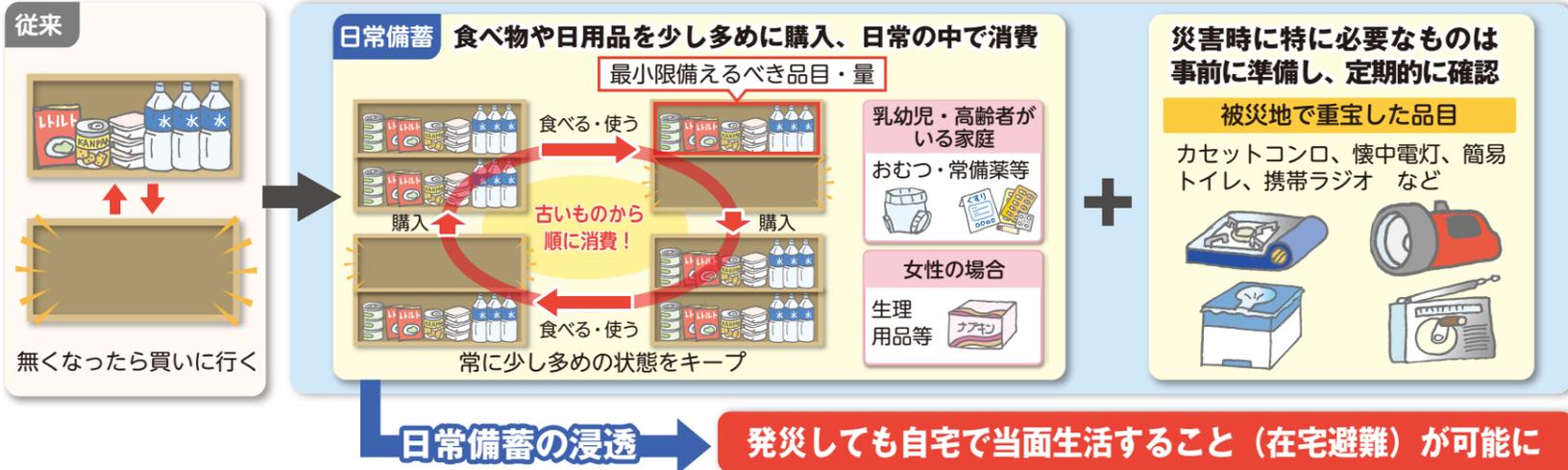


※詳しくは、ホームページをご覧ください。(URL: <https://www.city.ku-shiro.lg.jp/bousaikyu/bousai/saigai/jishinsaigai/0006.html>)

ちょっと多めに買う、日常備蓄のススメ

被災直後の生活のために、水(1人当たり1日3リットルが目安)や食料品を最低でも3日分準備しておきましょう。また、赤ちゃん、お年寄り、病人がいるご家庭は、必要な物をそろえておきましょう。

※大規模災害発生時には1週間分の備蓄が望ましいとされています。



住宅用火災警報器は、設置後10年で交換しましょう！

問合せ先 消防本部予防課予防広報担当 (☎23-0426)

住宅や共同住宅への住宅用火災警報器の設置義務化から21(令和3)年6月で10年が経過しました。

住宅用火災警報器は古くなると部品の寿命や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあるため、10年を目安に交換をしましょう。



- 公式YouTubeチャンネル「みんなの釧路市消防本部チャンネル」では警報器の点検方法など動画で分かりやすく説明していますので、ぜひご覧ください。

